

天ヶ瀬ダム再開発右岸工事用道路整備工事

宇治川の右岸側(トンネル放流設備吐口部の対岸)で宇治市道宇治志津川線の一部を拡幅する工事です。

現場にかける熱い想い

魅せる！ 現場

現場を支える人々編



自然と生活の共存を考える

◆現場にかける熱い想い

自然と生活の共存を考える。
それは、大いなる自然の力の前では、人間は本当に微力であり、自然と共存していくには、常に自然を畏敬する心が必要。そして、自然と共存することこそ、人類唯一の生きる道。今回の工事には、専門知識の高い技術者と知恵を出し合い、自然との共存が実現できる工事を進めていきます。



土木は、果てなく難しい。工程や工法を考え、現場の隅々を点と点を結び、線から線を繋げて立体的に創造し、工事の進捗を管理する。



◆工事位置◆

※背景写真は完成イメージ

西山グリーン株式会社

作業所 所長

おりかわ しげゆき

織川 重行

平成14年 入社 47歳
(2015年現在)

◆現場にける熱い思い

幾多にわたり、難しい法面土工に携わってきました。法面土工作業に関しては、厳しい自然条件化の基で行う作業であるため、特に工事中の安全確保が必要不可欠です。工事中の安全確保に際しては、仮設落石防護柵を設置し、第三者公衆災害防止に努め、今まで培ってきた、経験やスキルを活かし、元請会社と協力し、一丸となって法面土工に取り組みで行きたいと考えております。



厳しい自然条件下を乗り越える

株式会社 萬栄建設

主任技術者

いだ しんいち
井田 伸一

平成9年 入社 40歳
(2015年現在)



仕事に対する熱い意気込みを従業員に伝達。圧倒的な感性や想像力を武器に従業員を束ねる。



果敢に挑む姿は仕事に対する熱い気持ちの証。



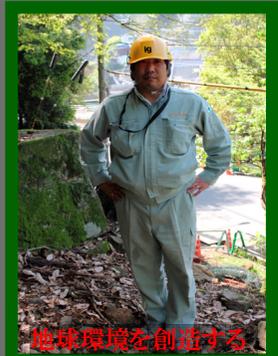
工事中は公衆災害防止のため、私が落石防護柵を施工し、第三者の安全を守ります。

担当者から担当者へ現場は受け継がれていく。



◆現場にける熱い思い

日本の誇りは美しい自然環境である。こんな表現ができるほど、わが国の自然環境は、比較的温暖な気候と適度な降雨量の下、四季の自然に恵まれ、さまざまな動植物による生態系が豊かに育まれています。しかし近年では、地球環境問題すなわち地球の温暖化、ヒートアイランド、生物多様性の減少、森林の減少、砂漠化などの出現により、のり面の長期安定化のみならず、環境保全や景観上の要請にこたえるため、その解決手段の一つとしてさらに、緑化工が求められるようになりました。私は、これまでに培った経験と新たな研究・開発により、豊かで美しい自然環境の保全と再生に努力してまいります。



地球環境を創造する

イビデングリーンテック
株式会社

主任技術者

きたはら としひろ
北原 敏裕

平成4年 入社 42歳
(2015年現在)



既存の落石防護ネットを撤去作業



自然相手は危険がつきもの。しかし、誰かがやらなければならない。自然と共存するということはそういうこと。



人と自然の共生、調和のとれた地球環境を創造します。



最後まで、絶対に
事故を起こさない

◆現場にかける熱い想い

最後まで、絶対に事故を起こさない。それが私の目標です。些細なことでも現場に目を配り、事故のない安全で安心な現場環境を維持していきます。

安心で安全な快適環境こそが構造物の出来ばえや品質に繋がると私は考えています。

西山グリーン株式会社

現場指揮者

はせがわ しょういち
長谷川 勝一

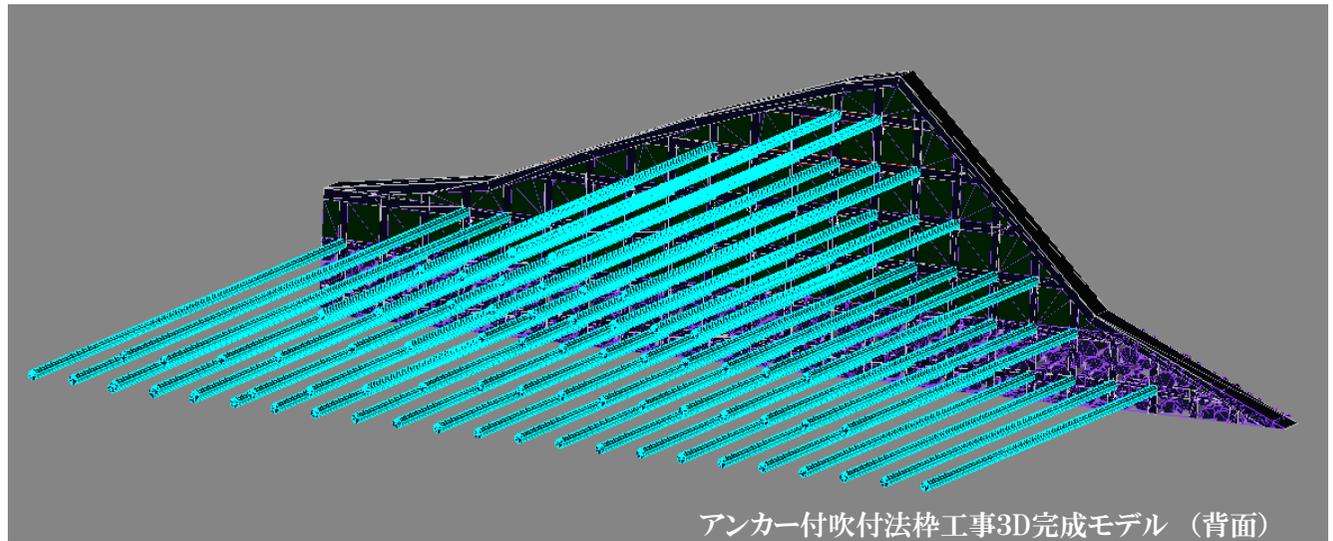
平成10年 入社 49歳
(2015年現在)



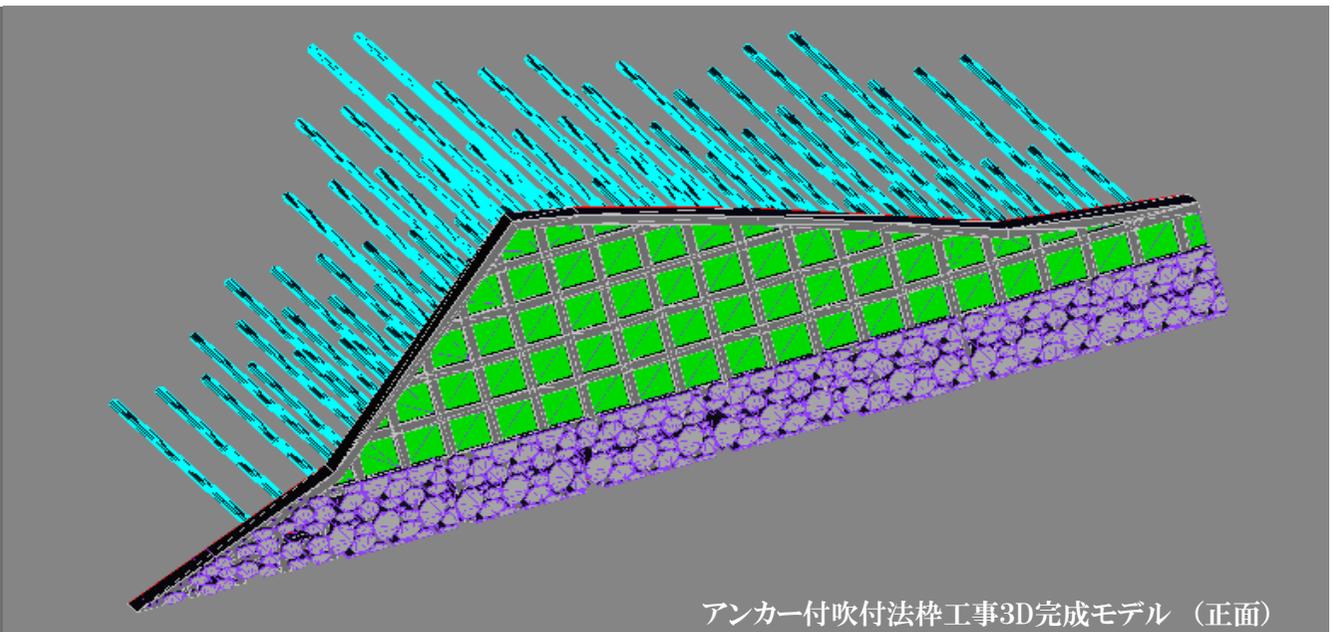
地域の生活道路を豊かにすることは私の仕事。その責任は重い。だからこそ強い使命感を背に、高い技術力を現場に注ぐ。こうして熱い想いが品質や出来形の精度を高めていく。



些細なことでも、現場作業員とコミュニケーションを取り、そして築き上げた信頼関係が現場を安心して安全な環境づくりを生む。



アンカー付吹付法棒工事3D完成モデル (背面)



アンカー付吹付法棒工事3D完成モデル (正面)

次回は、流入部建設工事の大成建設(株)です。